

平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 富 士 通 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 黒 川 博 昭
(コード番号 6702 東証第 1 部)
問 合 せ 先 広 報 IR 室 長 山 田 悦 朗
電 話 番 号 03-6252-2175

フォトニクスネットワーク事業の再編・統合について

富士通株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：黒川 博昭、以下、「富士通」)は、フォトニクスネットワーク事業の強化についてかねてより検討してまいりましたが、本日開催の富士通取締役会において、本年 7 月を目処として、富士通と富士通アクセス株式会社(本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：中村 隆、以下、「FJAC」)のフォトニクスネットワーク事業を再編・統合する方針を決定いたしました。

近年のフォトニクスネットワーク製品は、高速大容量化・多機能化が進む一方で、開発サイクルが短くなるなど、市場競争が非常に厳しくなっています。

これまで、富士通グループとしては、富士通が WDM(注 1)システムや SONET(注 2)システムなどの基幹ネットワーク網、FJAC が GE-PON(注 3)といった国内向けアクセス網(注 4)を中心に事業展開してきました。しかし、市場変化とともに、基幹ネットワーク網とアクセス網の境目が次第になくなってきており、特に国内市場における次世代ネットワーク網の構築計画においては、富士通と FJAC が保有している開発・製造の技術・ノウハウを融合し、よりいっそう協調した取組みが不可欠と判断したため、本日、富士通のフォトニクスネットワーク事業の国内向け開発部門および全製造部門を FJAC と統合する方針を決定いたしました。

具体的には、以下のとおり再編・統合を行う予定です。

1. 営業部門

国内向け営業部門は富士通に一本化します。

2. 開発部門・製造部門

富士通および FJAC の国内向け製品の開発部門と全製造部門を統合します。なお、海外向け製品の開発については引き続き富士通内で行います。また、FJAC のパワーエレクトロニクス(注 5)事業については、FJAC にて引き続き営業部門を含めた事業運営を行います。

これにより、営業部門の一体化による営業力強化と、開発・製造部門の統合による製品開発・製造の効率化、迅速化を図り、お客様にこれまで以上のサービス品質を提供してまいります。

なお、フォトニクスネットワーク事業の製造、および国内向け開発を統括する会社の詳細につきましては 5 月中旬に決定し、お知らせする予定です。

【 注釈 】

(注 1)WDM :

Wavelength Division Multiplexing の略。光ファイバーを使った通信技術の一つ。波長の違う複数の光信号を同時に利用することで、光ファイバーを多重利用する方式。

(注 2)SONET :

Synchronous Optical NETwork の略。光ファイバーを用いた高速デジタル通信方式の一つ。

(注 3)GE-PON :

Gigabit Ethernet-Passive Optical Network の略。光ファイバーを用いた公衆回線網で 1Gbps の通信速度を実現する技術。

(注4)アクセス網：

通信事業者の拠点から加入者までのネットワーク網。

(注5)パワーエレクトロニクス：

情報設備電源や各種製造設備用電源などの産業用電源装置。

以 上

報道関係者お問い合わせ先

富士通株式会社

広報 I R 室

電話：03-6252-2174（直通）

お問い合わせフォーム：<http://pr.fujitsu.com/jp/news/q.html>